

平成 20 年 12 月 12 日  
東京二十三区清掃一部事務組合

## 杉並清掃工場のイメージデザイン(案)

~~東京二十三区清掃一部事務組合~~

前回の建設協議会において工場の建替えに向けての基本的な考え方をお示しましたが、その際にいただいたご要望を踏まえて、新たな工場のイメージデザインとして、以下の3案を作成しました。

### 建設の前提条件

- ① 現在の掘り下げた地盤面に新たな工場を建設します。
- ② 現在の煙突(外筒)は、必要な補強を行った上で継続使用する予定です。
- ③ 焼却設備は、処理能力一日 300 トンの炉を 2 基設置します。
- ④ 環状八号線からの専用地下道については、補修等を行い継続使用します。
- ⑤ 基本的配置は従前のとおりとします。

### A 案

従来の工場 継承

- ・ 特 徴：管理棟を現在の位置に建替え整備する案
- ・ 建 物：外装は木の雰囲気を出した仕上げとし、北側建物壁面を帯状に緑化します。
- ・ 外 構：北側の外周部を遊歩道として整備します。

### B 案

- ・ 特 徴：工場北側を人工地盤とし、公開空地として整備する案
- ・ 建 物：外装はタイル又は塗装により現在の工場と同じアイボリー系の色彩とします。
- ・ 外 構：既存の管理棟部分を人工地盤とし、建物につながる憩いのスペースとして整備します。

### C 案

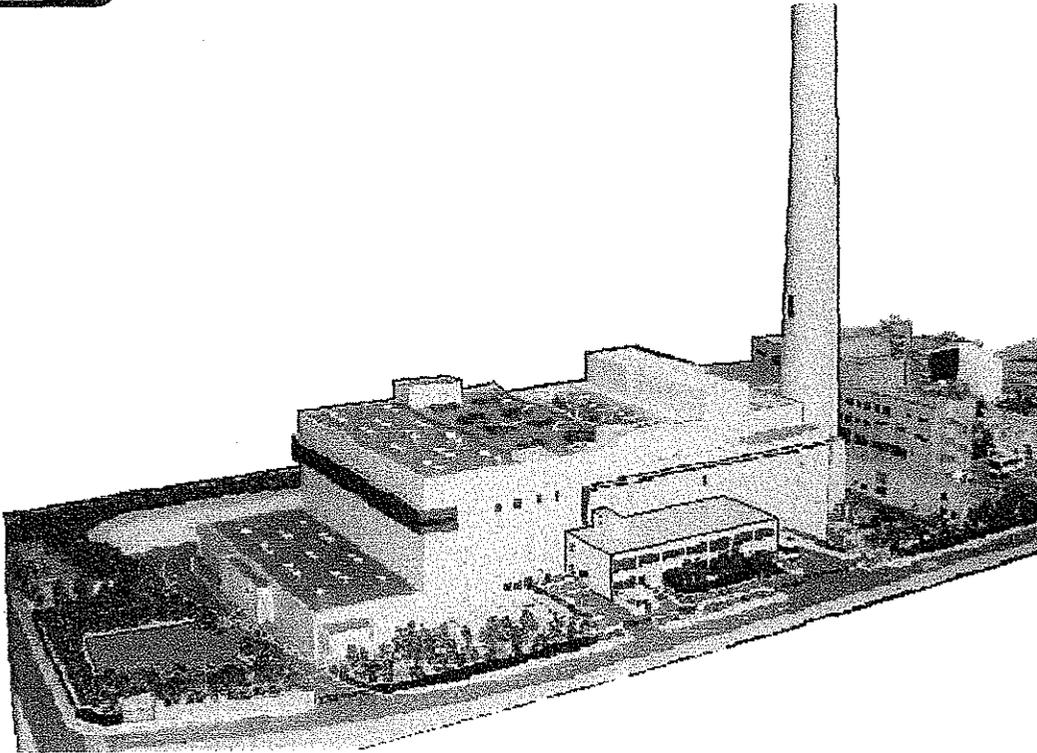
- ・ 特 徴：住民の方々の健康と憩いの場として周回できる遊歩道を整備する案
- ・ 建 物：現代風の外壁と丸みのある屋根により親しみを感じる工場とします。屋根材には太陽光パネルを使用します。
- ・ 外 構：西側に人工地盤を設け、工場を一周する遊歩道を整備します。

高さの分 スペースとれる。

東側一層階高くなる? 抑えられずかどろい(1)分はるか 早めに。

高さの分 スペースとれる  
東側一層階高くなる?

現工場



工場鳥瞰図

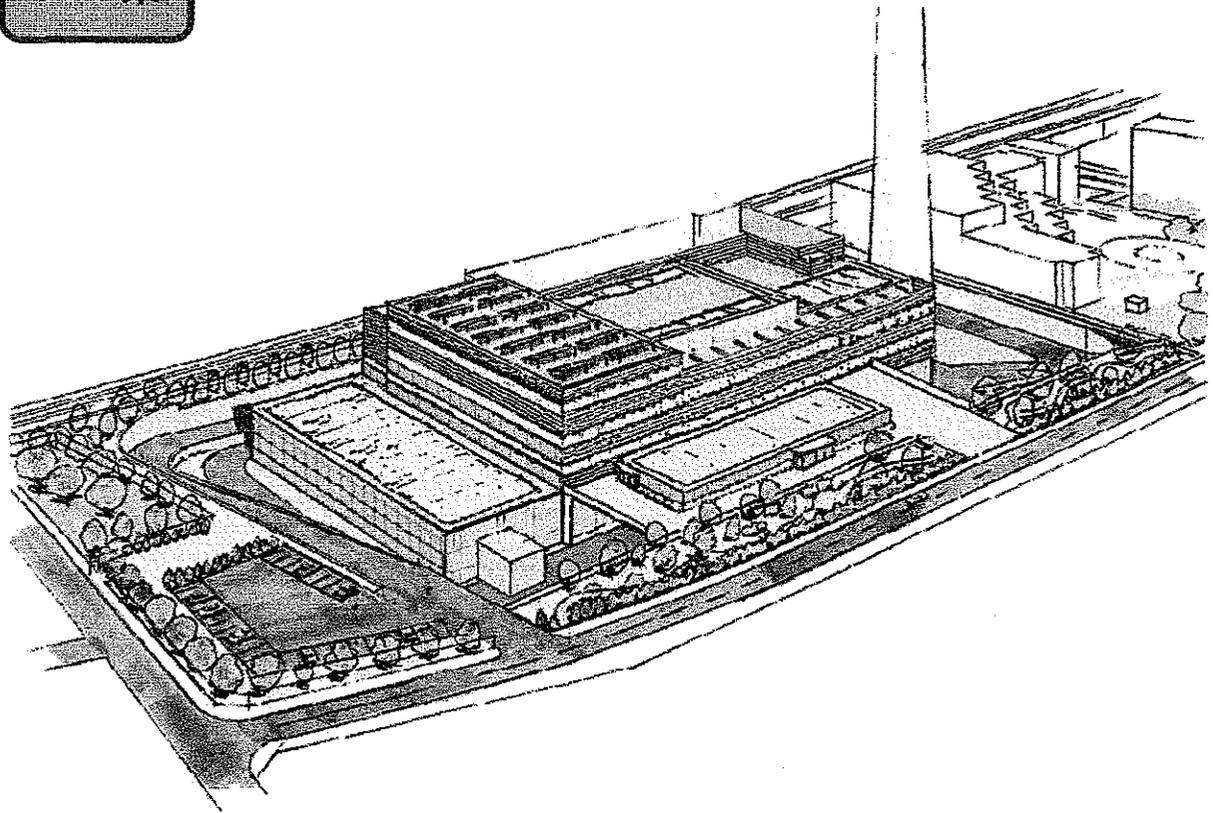


- |  |  |
|--|--|
|  緑地 (遊歩道含む) |  駐車場 (人工地盤) |
|  工場棟・煙突     |  玄関         |
|  車両周回道路     |  見学者動線      |

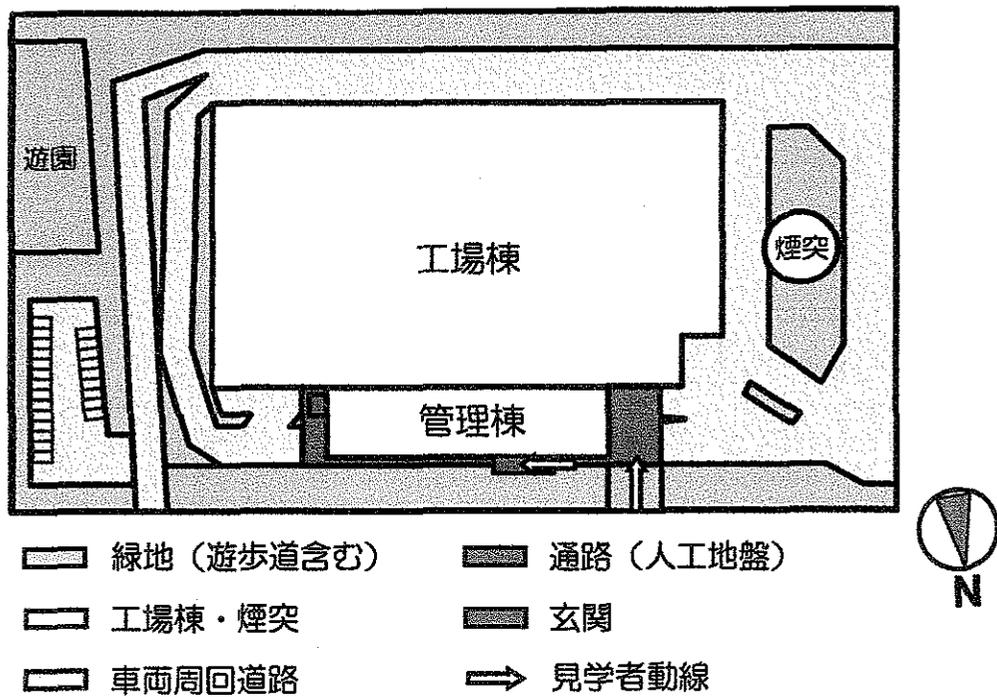


工場平面図

A 案

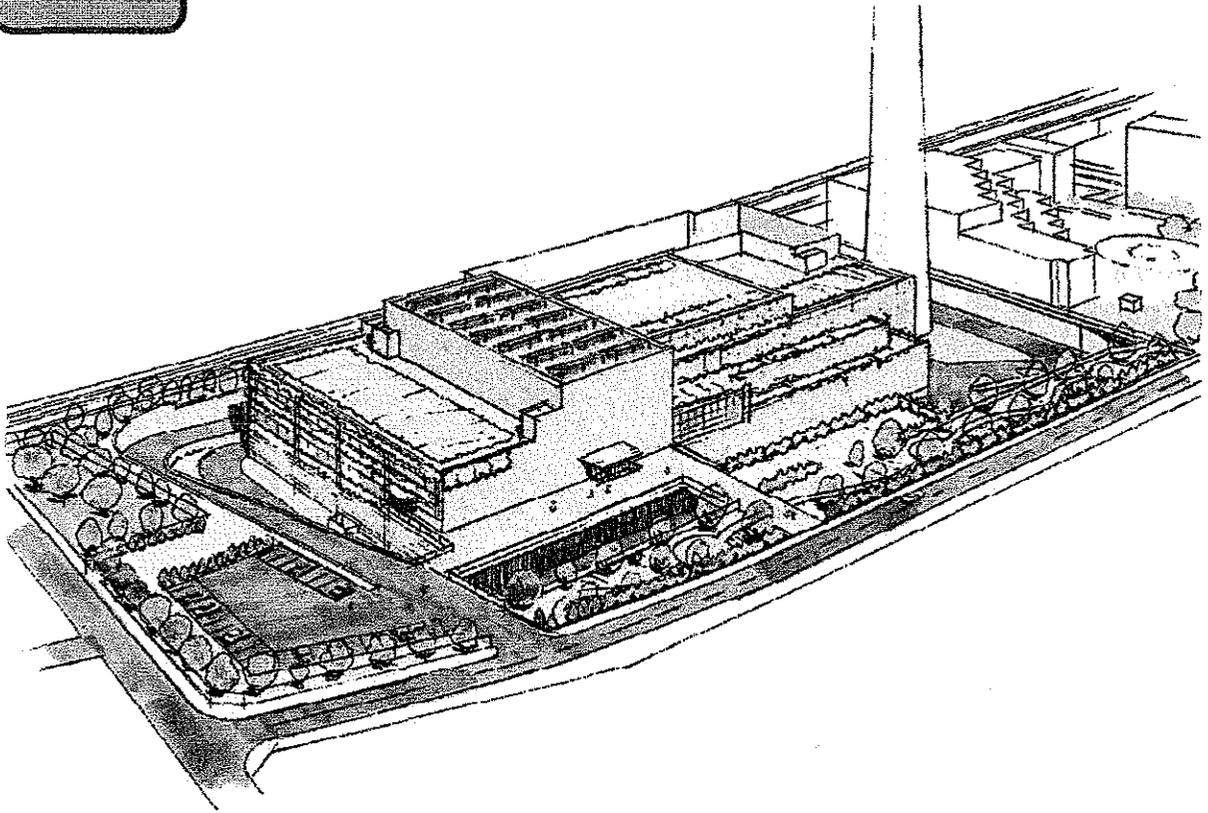


工場イメージ図

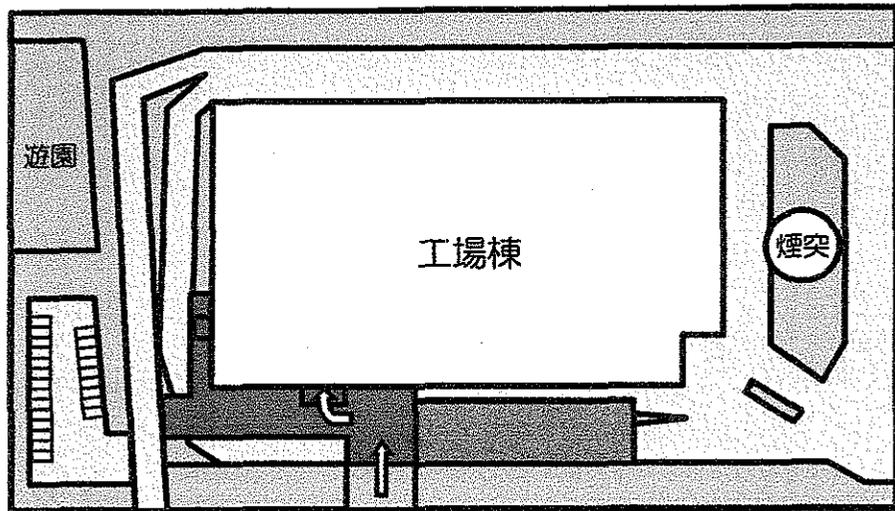


工場平面図

**B 案**



**工場イメージ図**

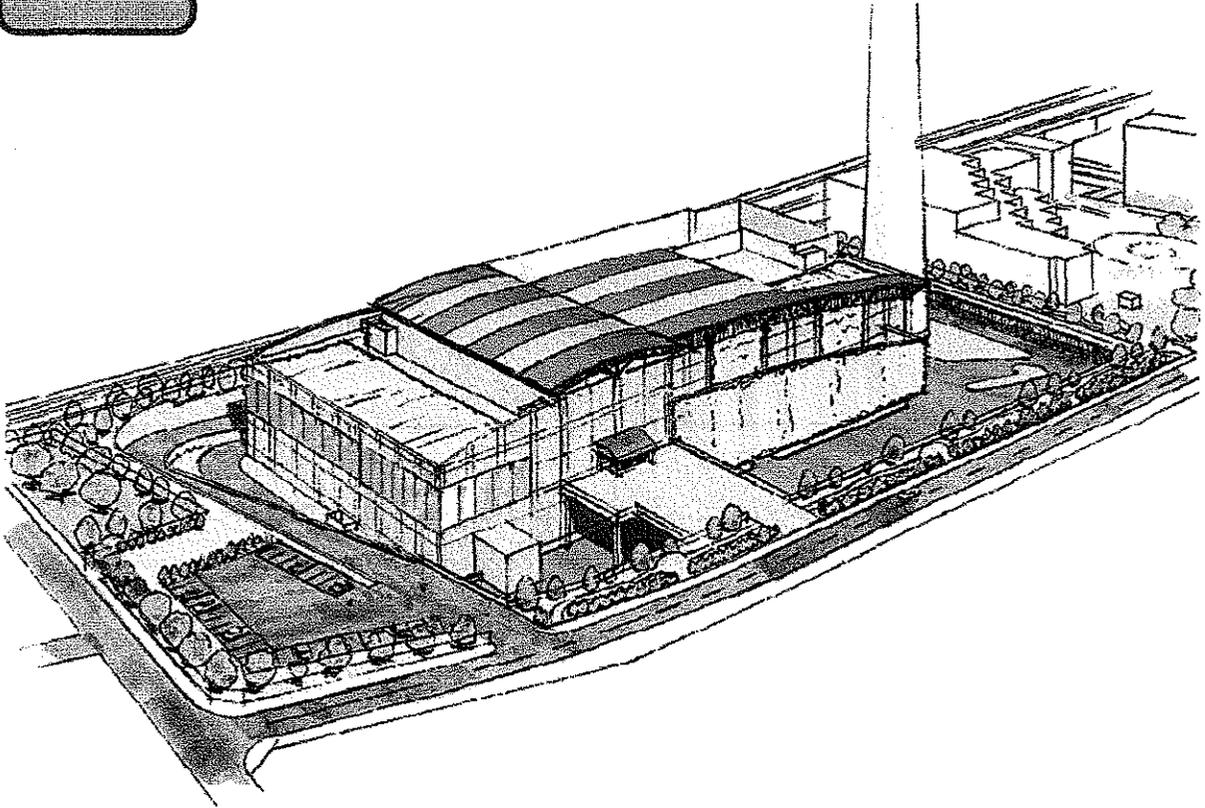


- |  |            |  |           |
|--|------------|--|-----------|
|  | 緑地 (遊歩道含む) |  | 緑地 (人工地盤) |
|  | 工場棟・煙突     |  | 通路 (人工地盤) |
|  | 車両周回道路     |  | 玄関        |
|  |            |  | 見学者動線     |

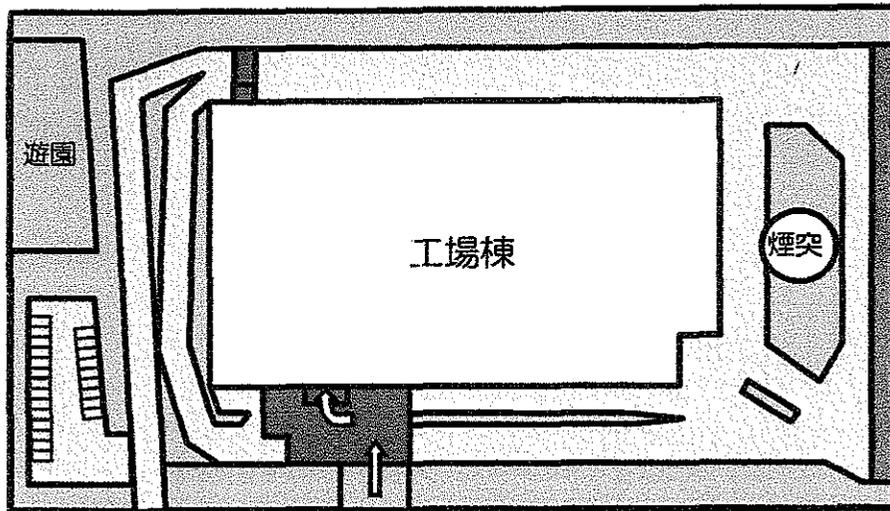


**工場平面図**

C 案



工場イメージ図



- |  |            |  |           |
|--|------------|--|-----------|
|  | 緑地 (遊歩道含む) |  | 緑地 (人工地盤) |
|  | 工場棟・煙突     |  | 通路 (人工地盤) |
|  | 車両周回道路     |  | 玄関        |
|  |            |  | 見学者動線     |



工場平面図

火垂突については変更考えてない。  
高さ場所等。  
必要な面積確保はある。内訳がわかる。  
再掲

### 3 案 の 比 較 表

		現工場	新 工 場		
			A 案	B 案	C 案
建 物	建物高さ (最高)	約 31 m	約 29 m	約 29 m	約 30 m
	建物面積	約 9,200 m <sup>2</sup>	約 9,400 m <sup>2</sup>	約 8,500 m <sup>2</sup>	
	管理諸室	北側管理棟 内に配置	北側管理棟 内に配置	プラットホーム上部に配置	
	管理棟位置の 活用法	管理棟 (二階建て)	管理棟 (一階建て)	人工地盤 広場に整備	なし
	プラットホー ム部建物高さ	地表面と同 等	地表面と同 等	地上二階建てに相当	
	見学者進入路 (車両)	玄関横の駐 車場より入 る	玄関横の駐 車場より入 る	玄関に横付 けし、車は駐 車場へ	玄関横の駐 車場より入 る
	外壁等の 仕上げ	塗装(アイボ リー系)	木の雰囲気 を出した仕 上げ	タイル又は 塗装(アイボ リー系)	現代風の外 壁と丸みの ある屋根(太 陽光パネル)
	建物壁面緑化	なし	北側壁面を 帯状に緑化	北側中央部 を階段状に 緑化	北側壁面を 壁状に緑化

		現工場	新工場			
			A 案	B 案	C 案	
建 物	プ ラ イ バ シ   配 慮	事務室	北側・東側窓 にブライン ド、すりガラ スを設置	北側窓を中 心にブライ ンド設置等 で配慮	東側窓を中心にブラインド 設置等で配慮	
		屋上部	露出状態の 設備あり	主要設備を屋内に設置		
		北東側 駐車場	樹木による 緩衝帯を設 置	樹木により、密度濃い緩衝帯を設置		
外 構		見学用バス駐 車位置	北側人工地 盤部	北側人工地 盤部	北東側駐車 スペース	北側人工地 盤部
		人工地盤	北側（駐車 場）	北側（通路、 駐車場）	北側（広場、 通路）	北側（通路、 駐車場） 西側（遊歩 道）
		外周緑化帯	立入禁止 緩衝緑地帯	北側を遊歩道として整備		東西南北の 緑化帯をつ なぎ、一周で きる遊歩道 として整備

# 工場棟の大きさについて

杉並工場については、現在の日量 300 トンの炉数が 3 基から 2 基に減少しますが、以下のように縮小と拡大が生じるため、全体としての工場棟の大きさは現状とほぼ同じとなります。

## 1 縮小部分（焼却炉）

現工場に設置されている焼却炉は、キルンが付属されており、炉巾が狭く炉長が長いという特徴があります。しかし、現在ではごみカロリーの上昇により、キルンを設けない形式が主流となっており、新工場でもキルンは設けないため、炉巾は広く、炉長は短くなります。

現工場：巾 3m × 長 20m  
新工場：巾 5m × 長 12m

## 2 拡大部分（排ガス処理設備及びごみバンカ）

現工場では、ごみ発熱量は最大約 8,800kJ/kg で設計されています。しかし、新工場ではサーマルリサイクルの影響もあり、最大 16,000kJ/kg 近くとする予定です。このため、燃焼により発生する排ガスは容積が増し、公害防止をはじめとする排ガス処理設備の部分は拡大することとなります。また、ごみクレーンの自動化により、ごみバンカ部分についても、より広い面積が必要となります。

## 3 全体配置図

